**相談受付票**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 相談日 | | 令和２年１２月○○日 | | |
| 受付　Ｎｏ．２０    ふ　り　が　な　　　　　かんの　　　　みほこ  氏　　 名　　　菅野　　美穂子　　　様 | | | | 相談方法  　　（来所、　電話、　文書、　ファクシミリ、　訪問）  　　※入院中の栃の丘病院にて実施。  経由機関　　相談支援センターりんご  担当者　　　　椎名相談支援専門員 | | | | |
| 精神保健福祉手帳　２級　　　性別　（男・女）　年齢　５２歳 （生年月日：昭４３・１・２　）  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　現住所　　栃の丘市蔵町１−２−３  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ｔ E Ｌ　　０００（３３３）５６７８  障害名：　精神障害（統合失調症）　　　　 Ｆ A Ｘ　　０００（３３３）５６７８ | | | | | | | | |
| 相談者氏名　菅野美穂子　障害者との関係　本人  住所　　　同上  ＴＥＬ 　　同上 　　ＦＡＸ　　　同上 | | | | その他の連絡先　　　氏名　菅野　雅人　（兄）  住所　　　同上  ＴＥＬ 　　同上 　　ＦＡＸ　　同上 | | | | |
| 家　　　　族 | 続柄 | 氏　　　　　名 | 年齢 | 職業　・　学校 | | 同居  別居 | | 特記事項 |
| 父 | 菅野　正義 | ６４ | ― | | ― | | 平成16年　死亡 |
| 母 | 菅野　雪江 | ６４ | ― | | ― | | 平成18年　死亡 |
| 兄 | 菅野　雅人 | ５７ | 自動車整備士 | | 同居 | | 平成31年　脳梗塞で倒れる。現在自宅療養中。 |
|  |  |  |  | |  | |  |
|  |  |  |  | |  | |  |
| ［相談内容］  　今年の１月にお兄ちゃんが倒れて、今も仕事を休んでリハビリを続けている。自分が帰ったらまた心配や迷惑をかけてしまうかもしれない。担当医からは入院治療も終わってるからいつでも退院できると言われているけど、どうしたらいいのか分からなくて相談したら、退院後の生活のアドバイスしてくれる椎名相談支援専門員を紹介してくれた。椎名さんとの話の中で、今は障がいがあってもいろんなくらし方があることを教えてもらって、その中でグループホームのことを聞いて、そこならお兄ちゃんにも迷惑をかけないで安心して生活できるかな・・・って思ったからいろいろ教えてほしい。 | | | | ［家族構成］　年齢・主介護者・他の介護者・イン  フォーマルサポート等記入、同居者は一線で表示  地活センターに友人がいる。 | | | | |
| ［現在受けているサービス］  ※現在入院中　入院前は、地域活動支援センター（２／w）の利用があった。 | | | | | | | | |
| ［対応者所見・その他の情報］  病状の安定に伴い、退院に向けて検討されているケース。自宅での生活を希望しているが自宅療養中の兄のこと、本人の将来的なくらしを考え、一定期間のグループホームの利用の方向性が高い。そうなった場合、退院と同時にサービス利用となる。急激な環境変化は否めないが、生活状況の安定を図ることで、本人の安心・病状安定へと繋がっていくものと考える。 | | | | ［対応状況］  写真等を使用しながらグループホームの説明をしたあとに本人から見学の希望があった。そのときは兄も同席し、利用に向けてのアセスメントも行う。  次回相談予定　　　　令和２年１２月○日（○） | | | | |

作成者　：ホーム青空　サービス管理責任者　△△△△